

第二十回 貴族院議事速記録第四號

明治三十七年三月二十八日(月曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第四號 明治三十七年三月二十八日

午前十時開議

- 第一 非常特別稅法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二 醫藥用工業用酒精稅法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第三 明治三十四年法律第十號中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第四 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第五 醬油稅則中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第六 自家用醬油稅法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第七 關稅定率法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第八 輸入原料砂糖稅法廢止法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第九 間接國稅犯則者處分法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十 地租徵收ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十一 沖繩縣滯納舊租延納法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十二 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十三 煙草專賣法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十四 貯蓄勸業債券法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十五 軍人恩給法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔小原書記官朗讀〕

昨二十七日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ之ヲ奏上シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

臨時事件費支辨ニ關スル法律案

陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計法案

記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル法律案

臺灣事業公債法中改正法律案

明治三十六年勅令第二百九十一號(承諾ヲ求ムルノ件)

臨時事件費豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)

明治三十七年勅令第十九號(承諾ヲ求ムルノ件)

防禦海面令(承諾ヲ求ムルノ件)

昨二十七日各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

非常特別稅法案外十一件特別委員會

委員長 子爵會我 祐準君 副委員長 子爵岡部 長職君

煙草專賣法案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 伯爵吉井 幸藏君

貯蓄勸業債券法案特別委員會

委員長 侯爵西園寺 公望君 副委員長 子爵長岡 護美君

軍人恩給法中改正法律案特別委員會

委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 男爵石黑 忠惠君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、特別委員長ノ報告ハ便宜ノタメ第一ヨリ第十二マデ束ネテ御報告ニナルコトヲ希望イタシ

マス、ソレデ御異存ハゴザイマセメカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

非常特別稅法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長 子爵會我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

醫藥用工業用酒精戻税法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治三十四年法律第十號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

沖繩縣酒類出港税則中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

醬油税則中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

自家用醬油税法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

關稅定率法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

輸入原料砂糖戻税法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

間接國稅犯則者處分法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

地租徵收ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

沖繩縣滯納舊租延納法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 議事日程ノ第一ヨリ第十二マデ束ネテ報告ヲ致シマス、此十二案ハ我々委員ニ託サレマシタコトハ昨日ノコトデゴザイマシタガ、昨日直ニ午前ヨリ午後ニ且ツテ開會イタシマシタ、此十二案中最モ骨子ト申スベキモノハ即チ此第一ニアル所ノ非常特別稅法案デアリマス、元來此案ト云フモノハ實ニ廣大ノ案デアリマシテ稅法案トシテハ蓋シ未嘗有ノ大法案ダラウト思ヒマス、獨リ此案ノ名ガ非常特別ナルノミナラズ之ヲ負擔スル所ノ國民ニ取リマシテ亦、實ニ是ハ非常特別ナル重稅ヲ負フト云フ譯デアリマス、併ナガラ帝國ノ浮沈興亡ニ關スル非常特別ノ場合ニハ此非常特別ノ重稅モ亦辭スルコトハ出來マスマイ、實ニ已ムテ得ナイ次第デアリマスニ依ツテ委員一同モ此意ヲ體シマシテ全會一致ヲ以テ此十二案ヲ悉ク一字一句一厘一毛ヲ變ゼズ見事ニ原案通り即チ衆議院修正案通り通過イタシマシタ、併ナガラ何分時間ガ切迫イタシテ居リマスニ依ツテ十分ナル調査ハ行届キマセヌノデアリマシタ、併シ一通リハ調査ヲ致シマシタ積リデアリマス、先ヅ非常特別稅法案ヨリ申上ゲマスガ、此案ニ付キマシテハ各所ニ質問ガアリマシタ、又政府

委員モ一々詳ニ答辯ヲセテレマシタ、餘程多端ノ質問デアリマシタ、サリナガラ今玆ニ特ニ報告申上ゲムト欲スル所ハ二箇條バカリニ過ギマセヌ、ソレハ第二十二條……修正ノ第二十二條及二十七條……一番終リノ二十七條、此二條デアリマス、先ヅ第二十二條ノ方ヨリ申上ゲマスレバ、是ハ附加稅ノ制限ヲ立テタ條ニ當リマス、質問テ聞得マシタ所ノ大體ヲ申上ゲマスレバ、此度非常特別稅トシテ増加サレル所ノ稅ニ對シテハ絕對的ニ附加稅ヲ許サナイト、ソレハ申上マデモナクサウ云フ文章ガ見エテ居リマス、又從前ノ稅、即チ本稅ニ對シマシテモ以前ヨリハ制限ヲ付ケマシテ以前ヨリハ少クスル、斯ウ云フ等ニナツテ居リマス、一ニノ取除ケハアリマスガ、大體ニ於テハ本稅ニ對シテモ制限ヲ付ケテ以前ヨリハ少ク取ル、斯ウ云フ說明デアリマス、又本員ハ委員席外ニ於キマシテモ大臣及政府委員ニモ此事ヲ突止メマシタガ、確ニ大藏内務兩大臣ノ許可チスル一ニノ取除ケハアルガ、其他ノ所ハ殆ド全ク從前ノ如ク附加稅ヲ増シテ行クコトヲ許サナイ、斯ウ云フ精神デアルト云フコトヲ確ニ承リ置キマシタ、サリナガラ之ヲ法文ノ一々ニ當ツテ本員ガ玆ニ説明スルノハ餘リクドラシクモゴザイマスニ依ツテ私が壇ヲ降りマシタアトテ尙ホ其邊ヲ御確メニナリタケレバ政府委員及大臣ニ御質問ニナリマスレバ此席ニ於テ必ズ證言サレルデアラウト信ズルノデアリマス、第二十七條、二十七條ハ即チ是ハ衆議院デ加ヘタ所ノモノデアリマス、細字ニナツテ居ル、細カイ字ニナツテ居ル所デアリマス、之ニ付テノ質問ト云フモノハ「平和克復」ト云フ四字ニ付テノ字義ノ解釋デアリマシタ、是ハ速記ヲ止メテマデモ質問ヲ致シマシタ、其大要ヲ申上ゲマスレバ「平和克復」ト云フ字ハ戰局全ク終ツテ平時ニ復シタ曉ト云フ義デアツテ媾和談判ノ成ル其即日トカ又戰爭ヲ止メマシタ當日ヨリト云フ切迫ナ義デナイト云フヤウナ解釋デアリマシタ、而シテ序ニ申上ゲマスガ、其次「翌年末日」トアリマスガ、此「翌年」ト云フノハ是ハ普通ノ曆年ノコトデアツテ會計年度デナイト云フコトデアリマス、是モ序ニ申上ゲテ置キマス、唯今申上ゲマシタ所ノ二條ノ質問答辯ニ付キマシテハ速記録ニ載セテアリマスニ依ツテアトヨリ御承知ヲ願ヒマス、其他各所ニ付テモ前ニ申上ゲマシタ通り多々質問ガアリマシタ、ソレニハ又相應ナ答辯モアリマシタガ、玆ニハ申上ゲマセヌガ、是モ亦速記録ニ載ツテ居リマスニ依ツテアトニ於テ御承知ヲ願ヒマス、申上マデモゴザイマセヌガ、此案ト云フモノハ衆議院ニ於テ大ナル修正ヲ加ヘタ案デゴザイマス、從ツテ金高

ニ於テモ政府ノ元出シタ所ノ案ト大ナル差ガアリマス、又税目ニ於テモ大ナル差ガアリマス、政府提出ノ案ニ於キマシテハ三十七年度ニ於テ是ヨリ得ル所ノ收入ハ六千八百三十七萬三千四百四十圓ト云フ見込デアリマシタノヲ衆議院ノ修正結果トシテ六千二百二十萬八千八百七十九圓ト云フ削減ニナリマシタ、其差ト云フモノハ丁度六百七十七萬五千六百一十一圓ト云フ高ニナリマス、尙ホ委シク申シマスレバ政府ノ原ト案ニアルノヲ衆議院ガ減シタ部及増シタ部ガアリマスガ、減シタ部ハ地租ニ於テ二百萬七千七百五圓、絹布消費税ニ於テ四百十八萬、アトハ讀ミマセヌガ、幾ラト云フモノデアリマス、ソレカラ鹽ノ消費税ニ於テ二百十八萬三千二百幾ラ、鹽ノ關稅ニ於テ二萬九千幾ラ、訴訟用ノ印紙ニ於テ八萬九千幾ラ、合セテ九百十四萬七千四百一圓ト云フモノガ衆議院デ削減ニナリマシタ、而シテ又衆議院増シマシタ所ノモノハ左ノ通りデアリマス、砂糖ノ消費税ニ於テ八十一萬圓餘、鹽ノ關稅ニ於テ二千七百九十餘圓、飲食物ノ關稅ニ於テ十五萬八千八百圓餘、石油關稅ニ於テ四十一萬圓餘、煙草關稅ニ於テ一萬五千圓餘、石油消費税ニ於テ十二萬二千七百圓餘、印紙收入ニ於テ五十七萬七千七百ナニガシト云フモノ、合セテ百五十七萬四千四百八十圓ト云フモノヲ衆議院デ増加スルコトニイタシマシタ、ソレニ依ツテ衆議院ノ修正ノ結果トシテ減ズルモノガ七百五十七萬五千九百二十一圓ト云フモノニナリマス、衆議院ノ修正ノ爲ニ七百五十七萬圓餘ト云フモノガ減ジマシタ、ソレニ依ツテ委員會ニ於テ右衆議院ノ修正ノ結果トシテ減ジタ所ノモノハ何ヲ以テ之レヲ補填セシムルヤト云フ當然ノ問ガ出マシタ、政府委員ハ之ニ答ヘテ左ノ如キモノヲ以テ之ヲ補填スルト答ヘラレマシタ、其左ノモノト云フモノハ煙草專賣ニ於テ百四十萬圓餘、一般行政費ニ於テ節約ナシテ百十七萬圓ト云フモノヲ出ス、ソレカラ特別會計ノ資金ヲ繰替ヘテ之ニ充タスモノガ五百萬圓、是デ七百五十七萬圓ノ不足ヲ充タス、斯様ナ説明デアリマス、先ヅ骨子タル此議事日程第一ニ就キマシテノ説明ハ斯ノ如キモノデアリマス、前ニモ申上ゲマシタ通り何分大體ノ審査ニ止マリマス話デアリマス、甚ダ報告ガ不十分デアリマスガ、委員會ニ於テノ調査ノ儀ニ付キ私ノ言洩ラシタコトハ他ノ委員ニ於テ御補足下サイマセウシ又本案ニ就テノ御質問ハ政府委員ニ御尋ネニナリマシタナラバ尙ホ委シク御分リニナリマシテ宜カラウト考ヘマス、而シテ是ヨリ進ンデ此第二號ヨリ第十二號マデ順次申上ゲマス、第二號ハ醫藥用工業用云々ト云フデアリマスガ、是ハ内地ノ

現在、酒精ノ發達ヲ阻礙スルニ依ツテ此法律ヲ出スト云フ理由書ニアル通り、至ツテ簡單ナルモノデアリマス、第三號ハ三十四年法律第十號中改正法律案ト云フデアリマシテ、是ハ酒稅ノ増徴ニ伴ヒマシテ此必要ガアル、即チ辰稅法ヲ改正スルノ必要ガアルト云フ政府ノ説明ガ付イテ居リマス、是モ至ツテ簡單ナ案デアリマス、第四號、沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案、是ハ是マデガ沖繩ハ燒酎ノ出來ル所デアリマスガ、旅客一人ニ付キ燒酎一斗ト申スモノヲ無稅デ持ツテ來ルコトガ出來タサウデス、今度酒モ段々稅ガ高クナルシ甚ダ他ト權衡ヲ得ナイカラ之ヲ改メルト云フノガ一ツ、ソレカラ其稅ヲ取締ルモノハ船政所トナツテ居ッタサウデスガ、ソレ他ノ一般ノ稅ノ如ク役人ニ取扱ハセテ取締ヲ能クスルト云フ意味デアリマス、第五號、醬油稅則中改正法律案、是モ即チ今度ノ非常特別稅ガ影響シテ此必要ガアル趣デアリマスガ、之ガ爲ニ八十七萬圓バカリ稅ガ得ラレル譯デアアルノデゴザイマス、第六號、自家用醬油稅法中改正法律案、是ハ一石未滿ハ是マデ自家用ニ造ルノハ無稅デアツタサウデアリマス、ソレ今度ハ有稅ニスル、現在ニ於テハ自家用一石未滿ヲ造ル人ハ數ガ百六七十萬人アルサウデス、先ヅ金高ハ能ク分リマセヌデ推測スルト二十五六萬圓グラキハ收入ガアラウト申スコトデアリマス、第七號、是ハ衆議院ニ於テ修正ニナツテ居リマス、關稅定率法中改正法律案デアリマス、是モ酒稅ノ騰リマス結果トシテ「アルコール」性ノモノニ付テ關稅ノ稅率ガ變ルト云フ極ク簡單ナルモノデアリマス、是ハ衆議院ノ修正通り可決イタシマシタ、第八號、輸入原料砂糖戻稅法廢止法律案、是モ矢張り衆議院デ改正ニナツテ居リマスガ、是ノ主意ハ理由書ニアリマス通り内地產ノ砂糖ノ發達ヲ進メル爲ニ急務ヲ必要トスルト云フコトデアリマス、第九號案、間接國稅犯則者處分法中改正法律案、是ハ即チ稅ニ付テノ犯罪者ヲ取締ル爲ニ便利ト云フヤウナ旨意デアツテ稅務監督局長ト云フモノハ是マデ直チニ犯罪者ヲ取扱フヤウナコトガ出來ヌモノダツタサウデアリマスガ、此説明書ニアル如ク收稅官吏ト同様ニ稅務監督者ヲシテ取締ノ任務ニ當ラシムルト云フ案デア官吏ノ數ヲ増サズシテ取締ヲ能クスルト云フ先ヅ結構ナ法律案デアリマス、第十、地租徵收ニ關スル法律案、是ハ今度地租ノ標準ナドモ違ヒマスシ彼是スルデ一筆一筆ニ分ツテ居ルノガ大變面倒ナコトデアアルカラ、ソレヲ輕便ニスル爲ノモノデア官民ノ手數ヲ省略スルト云フ、是モ誠ニ結構ナ便利ナ法デアラウト思ヒマス、第十一、沖繩縣滯納舊租延納法案、是ハ沖繩

ノ舊來滯納ニナツテ居ル所ノモノヲ處分スル一ノ法案デアリマス、是モ極メテ簡單ナルモノデアアル、第十二、是ハ少シ種類ガ違ヒマシテ渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案デアリマス、此最後ノ一案ハ前ノモノトハ餘程違ッテ諸君ノ御承知ノ通り古イ問題デアアルノミナラズ此理由書ニモ書イテアリマス通り舊來ノ疑問ノ一ガ解ケタヤウナ譯ニナツテ居リマス、一體足尾鑛山ノ鑛毒ト云フモノガ果シテ田畑ニ害ヲ及ボスヤ否ヤト云フコトハ餘程古イ問題デ、及ボスト云ヒ及ボサヌト云ヒ長イコトノ問題デアリマスガ、政府デ得タ所ノ調査委員ノ報告ニ依リマス、害ヲ及ボスト云フコトハ確ニ分ッタト云フコトデアリマス、即チ此理由書ニモ「銅分ノ爲土質ヲ惡變シタルモノ」ト云フコトガ明ニ書イテアリマス、又質問ニ於テモ得マシタ、サウ云フコトハ明ニ分ッタサウデス、併ナガラ田畑ノミデナイ、他ノモノニ害ヲ及ボスコト如何、或ハ又森林若クハ堤防ノ關係カラシテ種々ナ害ヲ及ボス所ニ向ツテノ豫防ハドウデアルカ、豫防デハナイ寧ロソレニ向ツテノ處分ハドウカト云フ問モ段々出マシタガ、政府ノ説明スル所ニ依リマス、此際ハ先ツ地租ヲ増徴スルニ付イテ舊來ノ儘ニ置イテハ甚ダ氣ノ毒デアルカラ地租ヲ此度増徴スルニ付イテハ玆ニ免ズルダケノモノハ免ジ、等級ヲ落スダケノモノハ落シテ、サウシテ此度ハヤル、即チ此理由書ニ「負擔ノ衡平ヲ計ルガ爲速カニ之ヲ實施セムトス」ト云フコトデアリマシテ、他ノモノニ付イテハ未ダ何等極マル所ハ無イト云フコトデアリマス、此煙毒、鑛毒ヨリシテ及ブ所ノ他ノ損害、他ニ及ボス所ノ損害ニ對シテノ處分ハ未ダ極マラヌト云フコトデアリマス、此田畑ダケノミニ對シテ玆ニ提出シタト云フコトデアリマス、先ヅ是ダケノコトガ調査モ結了シタト云フヤウナ意味デアリマシタ、ソレデ今度此案ニ出テ居リマス所ノ地面ノ廣サト云フモノハ十一郡バカリニ跨ッテ居リマスガ、是ハ即チ本案ノ第一條ニ書イテアリマスガ、其總テノ段別ガドレ位アルダラウト問ヒマシタ所ガ、一萬三千五百六十八町バカリニナル、併ナガラ是ハマダ確實デハナイ、大凡ノ見込、極ノ見込デアアルカラ變ズルデアラウト云フヤウナ意味デアリマシタ、サウシテ減ズル所ノ稅額ノ金高ハ幾ラカト申シマス、二萬圓バカリノ見込デアアル、是モ勿論見込デアアル、今マデ負擔シテ居ッタ、ソレノ廣サニ於テ是マデ負擔シテ居ッタ金高ハ十萬圓餘リノモノニ於テ二萬圓バカリヲ減ズル、斯ウ云フ見込デアアルト云フコトデアリマス、筆數ニ於テハ十九萬四千餘ト云フヤウニ非常ニ澤山ナモノデアリマス、ソレデ此案ガ法律ニ

ナツテ出マスト、無論國庫ニ於テハ年々二萬圓バカリノ收入ヲ減ズルト云フ譯デアリマス、ソレデ委員ノ一人ヨリ政府ハ年々此地面ニ對シテソレダケノ收入ヲ失フ譯デアアルニ依ツテ或ハ此鑛山ノ持主即チ鑛主ヲシテ何カソレニ辨償サセルトカ云フ方法ガアルノデアアルカト云フ問チ起サレマシタガ、政府委員ハソレニ對シテ答ヘテ、ソレハ今日ニ於テ別段法律モ何モ無イ鑛業ヲ營ム者ハ即チ日本ノ法律、鑛業ノ法律ニ依ッテ許サレタル範圍内ニ於テ營業ヲシテ居ルモノデアアルカラ、ソレニ付イテドウト云フ、辨償サセルトカ何トカ云フコトハ今日デハ他ニ仕方ガ無イ、斯ウ云フ意味ノ答辯デアリマシタ、是ニ付イテモ餘程種々御問モアリマシタガ、何分時間ガゴザイマセヌト此案ハ一番終リニモナリマシタニ依ツテ十分急ギマシタヤウナ氣味ガアリマシテ私モ十分記憶セヌコトモアリマス、速記録ニ載ツテ居リマスカラソレデ御承知ヲ願フデアリマス、是デ十二案大體ノ報告ハ終リマシタ、何分甚ダ不十分ナ取調デ諸君ノ御了解ニモ御苦ミニナリマセウガ、政府委員ナリ國務大臣ナリニ御質問ニナリマシタナラバ私ヨリハ能ク御説明ガ出來マセウト思ヒマス、是ダケヲ御報告イタシマス

〔宮本小一君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 宮本君ハ何デスカ

○宮本小一君 チヨット御質問ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) ドノ法案ニ付テ……

○宮本小一君 非常特別稅法案ノ二十三條、是ハ唯今委員カラ委細御報告ガアリマシテ、モウ實ハ質問チスル餘地ハゴザイマセヌガ、「第二條ニ依ル地租、營業稅及所得稅ノ増徴額ニ對シテハ附加稅ヲ課スルコトヲ得ス」ト立派ニ書イテアリマシテ、其又取除ケガアトニゴザイマスガ、之ヲ課セラレマシテハ實ニ倍増ノ増徴ノ上ニ持ツテ行ツテ此附加稅ガ掛リマシテハ餘程ノ難儀デゴザイマセウト思ヒマスガ、其取除チ致シマシタ必要ハ何デアリマスカ、大藏大臣ヨリシテ御説明チ承リタクゴザイマス、併セテソレハ決シテ濫用ハセヌト云フコトデゴザイマスルナラバ其事モ確メテ置キタクゴザイマス、一應御説明チ願ヒマス

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 宮本君ノ御尋ニ御答イタシマス、直稅ノ附加稅ニ付キマシテ元來地租ハ縣稅ニ於キマシテハ地租三分ノ一、市町村ニ於キ

マシテハ五分ノ一ト云フ制限ニナツテ居リマスルガ、此度ノ増徴ニ於キマシテ附加税ヲ課シマスル場合ニハ現在ノ地租ニ付テ算出イタシマシテ、増徴率ニ依ッテ附加税ハ附加シナイト云フ規定ニナツテ居リマスル、サリナガラ今日ハ所得税、營業税ノ如キハ、市制若クハ町村制ニ依リマシテ、直税ノ百分ノ五十以上ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ五十以上ヲ課スルコトニナツテ居リマスルカラ、ソレデハ此度ノ増徴ノ結果大ニ負擔ヲ増シマシテ、丁度宮本君ノ御心配ノ如キ結果ニ至リマスルカラ、是ノ取除ヲ設ケマシテ、地租ヲ制限以外ニ附加税ヲ課スルハ十分ノ五以内ニ止マル、又市町村ノ附加税ハ十分ノ三以内ニ止マル、所得税、營業税ノ如キハ百分ノ三十以内デナケレバナラヌ、斯ウ云フコトノ爲ニ二十二條以下諸種ノ取除ヲ設ケマシタ譯デ、ソレデ

ゴザイマスカラ結局唯今デゴザイマスト云フト、所得税デアアルナラバ所得税ノ國税ノ外ニ百分ノ五十八勿論、百分ノ五十以上モ、例ヘバ百分ノ八十デモ内務大臣、大藏大臣ノ許可ヲ受ケレバ附加税ガ出來タモノガ、此度ハ百分ノ三十以上ニ涉ルコトヲ得ナイコトニナリマスルカラ、ソレ故ニ此度ノ増徴ノ爲ニ所得税營業税ニ至リマシテモ、國税ノ外右ノ附加税ヲ通算イタシマシテ所得税デゴザイマスレバ十分ノ増徴ニ止マルト云フヤウナコトニナリマス、ソレハ嚴重ニ主務大臣ニ於キマシテハ地方長官ニモソレソレノ訓令ヲ下シマシテ、負擔ノ増加ヲ致サヌヤウニ、此法律ノ範圍内ニ於テソレソレノ取締ヲ致シテ行ク積リデ居リマス、付テハ内務大臣ニ於テハ先般既ニ地方長官ヲ集メマシテ將來嚴重ニ府縣若クハ其以下ノ歳出ヲ減ジテ此増徴ヲ満足セシムルヤウニ十分ニ注意ヲ致シテ歳出ノ節約ヲ圖ルコトニ篤ト相談ニモナツテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ一言申シテ置キマスルガ、其他此府縣費ヲ市町村ニ分賦スル場合ノ如キモ段々御尋モゴザイマシタガ、是モ十分ニ府縣知事ニ訓示イ

タシテ居ル次第デアリマスル、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 報告ハ東ネテ曾我委員長ガ致サレマシタガ、唯今議題トナツテ居ルノハ議事日程第一ノミト御心得ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 格別御議論ガゴザイマセヌナラバ、三讀會ヲ省略シマシテ決議アラムコトヲ、讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 報告ハ東ネテ曾我委員長ガ致サレマシタガ、唯今議題トナツテ居ルノハ議事日程第一ノミト御心得ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 格別御議論ガゴザイマセヌナラバ、三讀會ヲ省略シマシテ決議アラムコトヲ、讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵曾我祐準君 ソレハ一號ヨリ十二號マデ皆申上ゲマス
〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 唯今曾我子爵ヨリノ議事日程ノ第一ヨリ第十二マデ讀會省略ノ動議二十名以上ノ贊成ガアツタヤウニ議長ハ認メマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ動議ヲ可トセラレル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、議事日程第一ハ別ニ御質問モ御發議モゴザイマセヌヤウニ議長ハ認メマスカラ採決ヲ致サウト存ジマス

○議長(公爵德川家達君) 原案御異議ナイト見テ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ
○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決セラレタモノト認メマス、第二ノ法案モ御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決イタシマシタ、次ハ第三、是モ御異議ナイト見テ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ
○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決イタシマシタ
〔十二マデ異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○議長(公爵德川家達君) 第四ヨリ第十二マデ總テ御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ總テ可決イタシマシタ
○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第十三、煙草專賣法案、特別委員長報告、德川伯爵

煙草專賣法案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也
明治三十七年三月二十七日
右特別委員長

貴族院議長公爵徳川家達殿

伯爵徳川 達孝

〔伯爵徳川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵徳川達孝君 煙草專賣法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報道ニ及ビマス 昨日正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、引續キ會議ヲ開キ、十分ニ審議ヲ盡シ マシタル所、此案ハ多少非議スベキ點ハ無キニシモアラズト雖モ、今日ノ場 合財政上已ヲ得ズ衆議院ノ修正通りニ可決スベキモノト云フコトヲ以テ議決 ニナツタ次第デゴザイマス、何卒滿堂ノ諸君ニ於テモ委員會ノ決議ニ御賛成 アツテ直チニ可決アランコトヲ希望イタシマス

○平山成信君 此案モ矢張り讀會省略ヲ願ヒマス

〔賛成〕ト呼ブ者多シ
○議長(公爵徳川家達君) 平山君ノ讀會省略ノ動議、十名以上ノ賛成ガアツ タト認メマス、平山君ノ動議ヲ可トセラルル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ナイト見テ 宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決イタシマシタ、次ハ第十四ノ貯蓄勸業 債券法案ノ特別委員長ノ報告ヲ煩ハス筈デアリマスガ、該法案ニ添フベキ參 考書ノ調製ガ未ダ整ヒカネテ居リマスル、諸君ニ於テモ其參考書ヲ御熟覽ニ ナリマシテ其上議スルノガ御便利デアラウト議長ハ考ヘマスルカラ此日程第 十四ハ延期ヲ致シタイト云フ考デゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ延期ト致シマス、次ハ日程第十 五、軍人恩給法中改正法律案、特別委員長報告

軍人恩給法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

公爵二條 基弘

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

○公爵二條基弘君 此委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、此委員會 ハ昨日開キマシテ種々質疑其他審査討議ヲ十分ニ盡シマシタ所、成ルホド今 日ノ時勢ノコトデモアリマスシ此事ニ於キマシテハ一日モ早ク成立セネバ即 チ今日出征軍人等ノ後顧ノ憂ヲ殘シテ十分ニ其職ヲ盡スノガ難カラウト思ヒ マスルカラ委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以チマシテ原案通り可決イタシ マシタノデゴザイマス、尙ホ此案ハ極ク簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略 デ速ニ通過セラレンコトヲ希望イタシマス

〔賛成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ノ二條公爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成ガ アツタト認メマス、二條公爵ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ナイモノト 見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決イタシマス、是ニ於テ本日ノ議事ハ止 メマスガ明日モ議事ヲ開キマス積リデゴザイマス、議事日程ハ決定次第御報 道イタシマス、本日ハ散會

午前十時五十二分散會